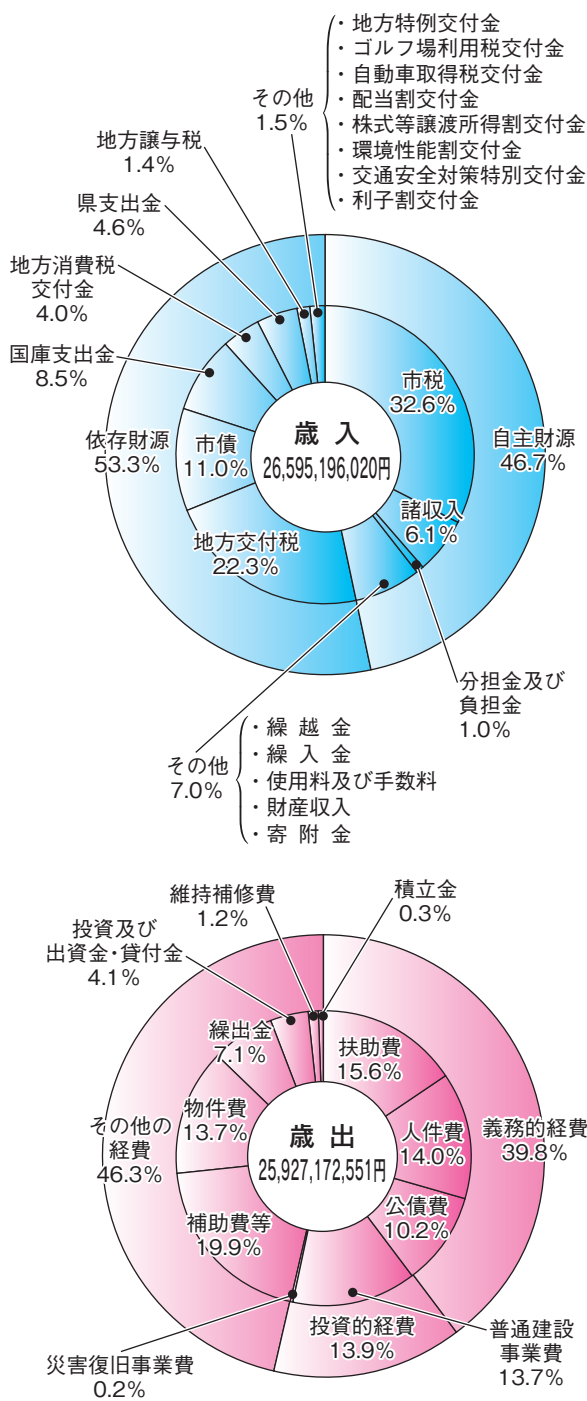


ちの市議会だより

令和2年9月定例会（決算議会）

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを、議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。それらの決算審査の結果は、市が今後の予算に活かしていきます。

令和元年度一般会計歳入及び性質別歳出決算の状況



令和元年度一般会計の主な事業

- ・宮川第二保育園と中大塩保育園の大規模改修工事
- ・保育園、小・中学校、学童クラブへの空調設備の設置
- ・病児・病後児保育施設の整備
- ・茅野駅西口駅前広場周辺整備基本設計などの都市計画事業
- ・蓼科湖周辺への公衆トイレの設置などの観光施設整備事業
- ・台風19号の災害復旧事業と小江川の雨水浸水対策
- ・第2次茅野市地域創生総合戦略の策定
- ・IoT通信技術活用によるスワリカブランド創造事業
- ・全小中学校に3人に1台のタブレット端末の導入等ICT教育の充実
- ・幼児教育の無償化への対応 など

第35号

2020年11月19日

発行／茅野市議会

編集／議会広報部

〒391-8501

長野県茅野市塚原二丁目6番1号

☎ 0266-72-2101

FAX 0266-73-7936

<https://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索

茅野市議会

検索

目次

委員会の審査・本会議討論	29
請願・陳情議決結果	33
議決結果・賛否一覧	34
一般質問通告一覧	35
議会感染症対応	36
議会感染症対応	37
編集室より	37

令和2年9月 定例会のあらまし

茅野市議会9月定例会は、8月26日(水)から9月18日(金)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など18議案、諮問1件が審議され、いずれも原案のとおり可決、同意、認定されました。

また、請願1件、陳情1件が審議され、ともに不採択となりました。

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

委員長 矢島 正恒

議案第48号

令和2年度茅野市一般会計
補正予算(第5号)
について



この議案は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6932万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ322億5990万7千円とするもの。

主な補正内容(歳出)

- ・ 地域公共交通事業費で、AIオpendemandを取り入れた実証実験のための委託料など4600万円
- ・ 税務事務費で、市税の過年度分の過誤納還付金が見込みより増額となったことによる償還金利子及び割引料の補正増2千万円
- ・ 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費で、高齢者福祉施設等における防災・減災対策や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のための補助金1479万9千円
- ・ 市単土地改良事業費で、7月上旬からの長雨による農業用施設の復旧作業に係る経費1300万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策支援事業費で、中小企業者等に対する従業員の雇用維持のための支援金3千万円など。

議案第50号

令和元年度茅野市一般会計
歳入歳出決算の認定に
ついて



この議案は、令和元年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

令和元年度の歳入決算額は、265億9519万6020円。

歳出決算額は、259億2717万2551円で、歳入歳出差引残額は、6億6802万3469円、翌年度へ繰り越すべき財源1億948万円を差し引き、実質収支額は、5億5854万3469円の黒字。

【討論】

● 反対意見

「国保の運営は厳しく、一昨年度、国保税を約10%、世帯平均で約1万円上げたにもかかわらず、2年続けて赤字である。原因は、国庫負担の減少で、一般会計からの法定外繰入れが必要ではないか。こうした方法をとらず、国保加入者への負担増を続けており、同意できない。」

また、マイナンバーカードを使った住民票等のコンビニ交付については、1件当たり8千円を超過する支出が続いている。国からの財政支援があるとはいえ、費用対効果の面で、同意できない。

さらに、パートナースhipsのまちづくりの面で、例えば、永明小学校、永明中学校の建替えにおいて、関係者として向き合っているが、取り組んでいると思っているが、茅野駅西口駅前広場リニューアル基本計画策定や地域創生総合戦略策定において、有識者委員会などの

意見を重視するなど、パートナースhipsのまちづくりから、離れているのではないかと危惧する。こうしたことから、認定には反対。」

● 賛成意見

「消費税率の引上げや幼児教育の無償化など、制度改正の中、若者に選ばれるまちに向け、各種事業を着実に実施した。台風19号や新型コロナウイルス感染症の対応など不測の事態の中、全体を通じて適正に予算が執行されていると判断し、認定に賛成である。」

議案第51号

令和元年度茅野市国民健康保険
特別会計歳入歳出決算の
認定について



この議案は、令和元年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

令和元年度の歳入決算額は、58億9126万9323円。

歳出決算額は、57億6520万9351円で、歳入歳出差引残額は、1億2605万9972円となり、同額が実質収支額。

【討論】

● 反対意見

「国保加入者の生活状況が悪くな

っている中、一般会計からの繰入れをずっとお願いしているが、なかなか実現しない。繰入れがない結果、単年度収支では赤字になっている。繰越金と基金は減っていく一方で、いつかは破綻ということになりかねない。認定には反対。」

●賛成意見

「一般会計からの繰入れを増やすことは、国民健康保険以外の市民の負担を増やすことになるので、慎重な検討が必要である。」

このような状況の中、令和元年度においては、加入者の負担を考慮し、税率改正することなく、適切に運営ができたと評価し、認定には賛成。」

総務環境委員会

委員長 望月 克治

議案第43号

諏訪南行政事務組合規約の一部変更について



この議案は、諏訪南リサイクルセンターの設置、管理及び運営に関する事務における負担する分担金の割合を改めるためのもの。

問 「リサイクルセンターで処理する品目によって、関係する

自治体が違うが、設置する区域区分を分ける条件は何か。」

答

「紙処理系列でみると機械工の部分と土木建築設備工事の関係の部分の床面積で算定している。」

議案第46号

茅野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について



この議案は、情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴い、個人番号通知カードに係る規定を削るためのもの。



個人番号通知カード

問 「この法律の改正は、昨年5月31日に公布され、今年5月25日施行で個人番号通知カードの新規発行・再発行が廃止されている。その後6月に定例会があつたが、なぜ9月定例会への提案なのか。」

答 「6月定例会に間に合えばよかったが市内の条例改正についての検討委員会の提出締切りが過ぎていたので9月に提案させてもらった。」

問 「他自治体では、5月25日、他にも6月3日にホームページへ記載している。茅野市では、7月13日で遅いのではないか。文言改正だけなのでこういう対応になったのか。」

答 「基本は、法に合わせて条例も改正が必要だが、庁内会議が必要であり、例規審査会・地域経営会議などの手順を踏む中で、日程的に難しかった。」

問 「通知カードを無くした市民が市役所で、再発行を求めた時はどういった対応をしているのか。」

答 「5月25日以降は、再発行できないことを伝え、マイナンバーを知りたいと言う市民には、番号を記載した住民票を交付している。」

問 「マイナンバー制度が始まる前の国会で、税の申告や他の

手続き上において、マイナンバーを記入しなくても不利益を被ることは何もないとの確認がなされていたが、この点は変わっていないか。また、自分の番号を知っていても社会生活上不利益を被ることは一切ないということは変わらないのか。」

答 「市役所においては、税の申告や、給付などについても番号を書かなくても問題はない。しかし、民間の保険手続きや申告をする時に、記入を求められて、番号を知りたいと市役所に来る市民はいる。」

議案第59号

財産の取得について



この議案は、市内小中学校の児童生徒、教師が授業等で使用するタブレット端末等の購入をするため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるためのもの。

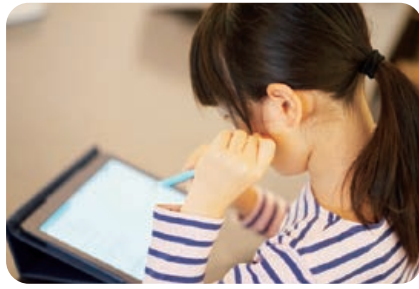
問 「入札への辞退が多いが、応募もしなかったのか、入札の中での辞退なのか。同様入札でこうしたことは多いのか。」

答 「13社に入札をお願いし、9社が辞退。4社による入札だ

った。4社の内2社が辞退し、最終的には2社による入札会となった。応札が少なかった理由としては、台数が多いため、台数の確保が出来ない、設定などの作業要員の確保が難しいことやソフトウェアが指定商品となっているなどが考えられる。」

問 「入札での価格は、予定価格の何%だったのか。」

答 「落札者は予定価格の98・86%。」



タブレットを使った学習(イメージ)

問 「転校や児童生徒数の変化に対応できる予備等は考慮されているか。」

答 「予備は確保している。児童生徒数は減少傾向にあり、今後この基数で対応できると考えている。」

問 「どんな授業に使う予定か。ノートなど要らなくなるのか。」

答 「すべての授業に使う考えではない。ノートが要らなくなるのではなく、文房具が一つ増えたと考えていただければよいと思う。」

請願3
消費税を5%に引き下げ
ことを求める意見書の提出
を求める請願書



不採択の意見

「所得再分配の不公平感の解消が第一義。社会保障制度の為に税が使われるべきだと考える。現状税の4本柱の一つである消費税を外すことはあり得ない。消費税を引き下げた時の対応が抜けている意見書では不完全である。茅野市議会として、完璧に出せるものでなければ同意できない。」

採択の意見

「コロナ禍で生活が厳しくなっているとの声をよく聞く。税金は経済状況に応じて弾力的にやるものだと考える。コロナ禍で支え合って暮らす賢い検討をしてほしい。消費税が入る中で、法人税が安くなり大企業が有利になり、中小企業は恩恵がなく厳しいとの声を聞く。国に賢い選択をしてほしいとの想いで賛成。」

経済建設委員会

委員長 松山 孝志

議案第42号
市道路線の認定について
(湖東上菅沢地籍)



この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、湖東上菅沢地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。

問 「認定道路の勾配と雨水の処理方法は。」

答 「道路の勾配は0・55%で、雨水は接続する市道の側溝に排水する。」



市道路線認定現地視察(湖東上菅沢地籍)

福祉教育委員会

委員長 吉田 基之

議案第47号

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について



この議案は、子ども・子育て支援法附則第2条第4項等に基づく子ども・子育て支援新制度施行後5年の見直しに係る検討結果により講じられたこと等による、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

問 「運営に関する基準がどのようにな変わったのか。」

答 「今回の改正は、主には地域型保育事業所を卒園した児童の受け皿となる連携施設制度のあり方についての改正である。地域型保育事業とは家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の4種類

であるが、現在茅野市にはない事業である。

この地域型保育事業は、原則2歳までの未満児を預かる保育施設である。そこを卒園する際、保育園、認定こども園等の連携施設を確保すべきである。また、卒園後も引き続き教育・保育の提供を受けることができる場合には、卒園後の連携施設の確保を不要とすべきであると改正された。国の基準に従い、条例の改正をする。」

問 「茅野市には地域型保育事業の施設がないということだが、条例の改正は必要があるのか。」

答 「国の法令を参酌し、市町村で条例を定めるようにとの決まりがあり、今後、家庭的保育事業の認可をする時など、規定を前もって定めておく必要がある。」

問 「現在、茅野市にはない地域型保育事業の今後の取組についての考えは。」

答 「家庭的保育事業等は、認可に伴う最低基準が条例で定められているのでそれに従って進めていく。現在の保育所でほとんど足りている状況で小規模の保育をするところとは、今のところあまりないと考えている。ただし、事業所内保育事業の希望は、今後出てくる可能性はあると考えている。」

陳情4

感染症流行時や災害発生時の『学びの保障』について検討する会議の設置を求める陳情



不採択の意見

「市にはすでにいろんな会議体がある。その強化をしていく必要があると思うが、新たな会議の設置というまでは賛成できないので不採択。」

「新たな会議の設置への気持ちはわかるが、今、市の取組が進んでいるので不採択。」

「新たな会議を設置するには条例を設定するしかない。そこまではできない。また条例ではない私的な会議は、市長の権限で、議会が口出すことではないため不採択。」

採択の意見

「会議の設置は考える必要がある。それほど非常識なことではないと感じているので採択。」

「現在、様々な会議はあるが、意見を集約するような協議体みたいなものはない。平時から感染症や災害発生時の子どもたちの学びについて検討する会議があるべきだと思うので、採択。」

本会議における討論

議案第50号
令和元年度茅野市一般会計
歳入歳出決算の認定に
ついて



● 反対討論

「国保加入者は低所得者が多く、税収での国保維持は難しい。改善策は国の交付金増であるが、叶わない場合、市の一般会計からの繰入れが必要であるが、していない。コンビニでの住民票等の取り出しで、一件当たり8千円以上の経費がかかっている。費用対効果を考えると疑問の施策だ。市は第2次地域創生総合戦略策定や、駅西口リニューアル計画を推進してきたが「有識者会議」重視の姿勢が見られ、住民の声を聞くという「パートナーシップのまちづくり」の手法から遠ざかっている。この手法に同意できないため反対。」

● 賛成討論

「年明けと共に、新型コロナウイルス感染症の猛威が、全世界を襲い、今日まで人々を苦しめている状況である。こんな中、茅野市では当初計画していた、小中学校の

空調設備の設置、サポートルームの新設、病児病後児保育施設の整備などの各種事業が着実に実施された。また、災害等の不測の事態や、10月からの保育料の無償化などにも柔軟に対応していたと評価できる。今後も市民の想いに配慮し、限られた財源を有効に活かしながら、より一層の成果に期待し賛成。」

議案第51号
令和元年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について



● 反対討論

「国保加入世帯の53%が軽減世帯。延滞金の約半額が国民健康保険税。多くの自治体が一般会計から繰り入れて保険税を低く抑えている。違法ではない。特別会計への繰入れは、他の保険加入者からの税金を使い不公平と言うが、軽減世帯や減免世帯分の保険税は、税全体から支出されている。国保は国民皆保険制度を支えるものだからだ。日本国憲法に規定する公衆衛生の観点からも、一般会計からの繰入れは必要不可欠だと考え、反対。」

● 賛成討論

「厳しい財政運営の中で、被保険

者の負担を考慮し、保険料の税率改正をすることなく、留保財源を活用することで、適正な運営ができたと評価できる。反対意見にあった保険税の一部を公費で負担する「法定外繰入れ」については、国保以外の被用者保険等の加入者との間で不公平感があり、一般会計を圧迫する恐れもあるので、国でも解消を求めている。茅野市では、法定外繰入れをすることなく、健全な国民健康保険運営がなされている。今後も、安定的に運営されることを期待し、賛成。」

陳情4
感染症流行時や災害発生時の『学びの保障』について検討する会議の設置を求める陳情



●不採択討論

「このような会議は、行政執行に資することを目的として、行政が設置するもの。議会がないうることは、条例案の提出、制定までであり、要望することはできても設置そのものを行う権限はない。採択には、陳情者側に陳情内容の実現を約束する意味があるが、議会に権限がないので設置をするという約束ができない。だから、不採

択とするしかない。」

●採択討論

「本陳情は、コロナ禍で浮き彫りになった、子どもの学びや生活、保護者や教員の苦しい現状などの課題についての協議の場は不可欠であることから、新たな課題の協議の場を求める市民の声。既存の会議では多くの協議事項もあり、新しい課題、保護者や専門家などが参加する議論の場は時間的にも難しいと考える。会議の形ではなく、市民の切実な声を受け止め、市に要望していくことが望ましいと考える。」



令和2年9月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
請願3	消費税を5%に引き下げることを求める意見書の提出を求める請願書	コロナ禍のなか消費を喚起させ内需を支えるための効果的な経済政策として、国に対し消費税を5%に引き下げることを求める意見書の提出を求めるもの。	田辺富貴雄	不採択	不採択
陳情4	感染症流行時や災害発生時の『学びの保障』について検討する会議の設置を求める陳情	子どもたちの緊急時における「学びの保障」や「学校機能の維持」の強化を進めるための専門家会議を茅野市に設置することを求めるもの。	村上 陽一	不採択	不採択

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算

番 号	件 名	付託委員会	議決結果	西角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	松山 孝志	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	樋口 敏之	望月 克治	伊藤 勝	
44	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	市道路線の認定について(湖東上菅沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	諏訪南行政事務組合規約の一部変更について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	茅野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和2年度茅野市一般会計補正予算(第5号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和2年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和元年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○
51	令和元年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○
52	令和元年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和元年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和元年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和元年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和元年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和元年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	令和元年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	財産の取得について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	3 消費税を5%に引き下げることを求める意見書の提出を求める請願書	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情	4 感染症流行時や災害発生時の『学びの保障』について検討する会議の設置を求める陳情	福	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
報 告	8 債権放棄の報告について																				
	9 令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について																				
	10 株式会社ベルビアの経営状況について																				

議決日は、9月18日の議会最終日(但し、議案第44、45号、諮問1号は、8月26日の開会日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
樋口敏之	1 防災情報システムの構築について	(1) 導入予定の防災情報システムの概要について (2) 防災情報システムの運用について (3) 新しく構築されるメールシステムの活用方法について
矢島正恒	2 消防団の組織と運営等について	(1) 消防団員の充足状況と団員確保の今後の取組について (2) 消防団の器具・機材等の適切な配備と部等の統合について (3) 茅野市消防団総合計画(仮称)について
	3 高齢者の運転免許証返納の現状と返納後の公共交通のあり方について	(1) 高齢者運転免許証の自主返納の現状について (2) 自主返納者等への支援策について (3) 高齢者の日常生活における公共交通支援策の充実について
吉田基之	4 茅野市森林環境譲与税基金による森林整備の施策と林業の活性化について	(1) 森林整備の現状と課題について (2) 基金の活用について (3) 具体的な森林整備や林業の活性化の施策について
伊藤玲子	5 コロナ禍における高齢者支援について	(1) 基礎疾患や免疫力の低下等が心配される高齢者への更なる支援について (2) 各種団体等がコロナ禍で今後も活動を続けていくための課題と新たな支援策について (3) 健康づくりポイント事業を活用して、高齢者にもアプローチし健康づくりや介護予防策を図る取組について (4) 自粛生活が認知症や予備群を作るとして危惧されているが、その認識と予防への取組について (5) 5回続けて長野県が健康寿命日本一となったが、茅野市における認識と、今後に向けた対策等について
	6 コロナ禍における子ども達への支援について	(1) 子どもたちの不安や困っていることに寄り添えているか (2) 今年度の学校行事について (3) 保護者や子ども達が得た教訓や意見を聞き取り、今後の教育環境の構築のために活かしていくことについて
両角実晃	7 自転車の交通安全対策について	(1) 自転車の交通安全への取組について (2) 命を守るヘルメット着用推進の取組について (3) 自転車の保険加入について (4) 自転車で安心して通行できる道路整備について
伊藤正博	8 茅野駅西口駅前広場リニューアル基本計画における集合住宅建設計画等について	(1) アンケート調査の結果について (2) 企画、立案の段階で市民はどのように関わってきたか (3) 基本計画における集合住宅の位置付けについて (4) 今後どのように進めていくか
	9 新しい地域公共交通について	(1) 新しい地域公共交通の概要について (2) 新地域公共交通検討会議のあり方について (3) 今後の検討会議の進め方について
木村明美	10 茅野駅西口周辺整備について	(1) 茅野駅西口周辺再生検討委託業務のプロポーザルの結果と今後の計画について (2) 西口駅前広場リニューアル計画の市民への説明について (3) トイレの改修、位置の見直しについて (4) バス待合スペースの確保について
	11 公共施設におけるインターネット環境の整備について	(1) 市の公共施設におけるインターネット環境の現状について (2) 公共施設のネット環境について (3) 今後の整備について
竹内巧	12 再生可能エネルギーを活用した地域活性化について	(1) 茅野市におけるエネルギー政策と再生可能エネルギーの現状について (2) 再生可能エネルギーの活用に対する認識について (3) 「自治体新電力」についての考え方について
	13 新しい地域公共交通システムの実証運行について	(1) 実証運行に関わる受託会社の選定について (2) 新しい地域公共交通システムが市民に浸透するための方策について (3) 本格導入を判断する際に必要となるデータの取得について (4) 本格導入を開始する際に必要となるデータの確保について (5) 実証運行区域外の市民に対する対応について

	件名	要旨
松山孝志	14 地方選挙について	(1) 平成31年実施の茅野市議会議員選挙に要した各種費用について (2) 電子投票の実態と茅野市での採用について (3) 選挙時において市民から寄せられる意見への対応について (4) 選挙管理委員会としての研修について
机博文	15 学校給食等における地産地消について	(1) 地産地消と食育への取組みについて (2) 給食地場産連絡会での現状と課題について (3) 子どもたちとの交流機会について (4) 直売所との連携について (5) 今後の展開と助成の考えについて
	16 茅野市立地適正化計画について	(1) キスアンドライドによる整備計画について (2) 青柳駅周辺の地域交流拠点としての位置付けについて (3) 誘導区域外である御狩野地域の考えについて (4) 工場・住宅が混在する中での現状の誘致計画について (5) 都市計画マスタープランを含めた今後の見直しと広域連携について
伊藤勝	17 指定文化財の保護管理について	(1) 文化財の指定、解除の考え方について (2) 指定文化財の保護管理者は誰なのか (3) 保険や補助金交付の考え方について
	18 鳥獣被害対策について	(1) 今年度の鳥獣被害の状況は (2) 鹿等を捕獲した時の買上げ金の考え方は (3) 鹿処理への補助の考えは (4) 電気柵等への補助の考えは
伊藤正陽	19 新地域公共交通システムについて	(1) AIオンデマンドシステムの仕組みについて (2) 今回なぜAIオンデマンドシステムを採用したのか (3) ヴィア採用とその経緯について (4) 実証する内容について (5) 運行の目標値と、宣伝について (6) システムやデータの保有について (7) スマートフォンなど電子機器を使えない交通弱者への対応について (8) 「実証運行」後の進め方について
東城源	20 茅野市名誉市民をはじめとする市の表彰制度について	(1) 名誉市民にはどのような方が該当になるのか (2) 推薦から決定までのプロセスは (3) 条例、規則等に基づく表彰はどのようなものがあるか
	21 ヴィアシステムは移動手段の救世主となりうるか	(1) 目指すゴールはどういったものか (2) ヴィアシステムは高齢者に優しいか (3) ヴィアシステムと並行した既存路線バス等の運行について
木村かほり	22 妊娠前から子育て期の切れ目のない支援体制について	(1) 育ちあいちの、保健福祉サービスセンターなどの相談体制について (2) 茅野市における助産師の関わりについて (3) 少子化における婚活支援と家族支援について
	23 コロナ禍での学びの保障と多様な学びへの取組について	(1) 3月からの休校による影響と今後について (2) 多様な学びの取組の現状と今後について (3) 学校外での学びの場について
望月克治	24 介護保険のデイサービスやショートステイ事業者への市独自の補助制度の創設について	(1) 市内の事業者で「特例措置」を利用している施設はあるか (2) 「特例措置」を利用した場合の収入分を市が補助できないか
	25 小中学校における感染防止対策について	(1) 感染症対策に必要な物品は十分供給できていますか (2) 学校内で対応をする保健室の設備は整っていますか (3) 学校での急な発熱時に、どのように対応することになっていきますか (4) インフルエンザの流行が重なった場合の対応は検討していますか (5) 学校内での感染対策を充実し、教職員の負担軽減をするためにも、養護教諭の二名体制をとることはできませんか

定例会での新型コロナウイルス感染症予防のための対応



答弁する部課長に
出席者を限定

議員は間隔を
空けて着席

マスク着用

検温



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
隣との席の間隔を2席分
空けてお座りください。



消毒

傍聴席も間隔を空けて

検温・消毒してから議場入場

編集室より

人に感染して病気を引き起こす
コロナウイルスは、新型コロナウイルスで
七種類となった。そのうち四種類
は風邪の症状を引き起こす。残る
三種類のうち二つがSARSとM
ERSで、新型コロナウイルスは
七番目となる。過去数千年の間四
種類であったが、これら三種類は
過去二十年程の間に世に出た。そして、七
種類ともに、有効なワクチン・特効薬は未
だ開発されていない、ということだ。

新しい生活様式というのがそれは、直に顔
を合わせての会話、スキんシップ、集団行
動を避けるという
ものです。これか
らは、一体何が、
相手を理解し、良
好な人間関係を築
く手段となるので
しょうか。

議会広報部会
小尾 一郎



議会広報部会	
部会長	伊藤正陽
副部会長	両角実晃
部員	木村かほり
部員	吉田基之
部員	机博文
部員	小尾一郎
部員	伊藤玲子
部員	樋口敏之